

発電所敷地内における空气中放射性物質の核種分析結果

参考値

(データ集約：1/12)

採取場所	福島第一 西門		福島第二 MP - 1 (参考)				炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成24年1月11日 7時00分～12時00分		平成24年1月11日 9時46分～9時56分				
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-			
Cs-134 (約2年)	5.2E-07	0.00	ND	-			2E-03
Cs-137 (約30年)	2.1E-07	0.00	ND	-			3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

. E - とは、. × 10⁻ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

福島第一 西門における検出限界値は次の通り。

揮発性の I-131 が約 1E-7 Bq/cm³、Cs-137 が約 3E-7 Bq/cm³。

粒子状の I-131 が約 6E-8 Bq/cm³。

福島第二 MP - 1 における検出限界値は次の通り。

揮発性の I-131 が約 2E-6 Bq/cm³、Cs-134 が約 3E-6 Bq/cm³、Cs-137 が約 3E-6 Bq/cm³。

粒子状の I-131 が約 9E-7 Bq/cm³、Cs-134 が約 1E-6 Bq/cm³、Cs-137 が約 1E-6 Bq/cm³。

福島第一原子力発電所 空気中の Pu 分析結果

1. 採取場所：福島第一原子力発電所 西門
2. 分析機関：日本分析センター
3. 測定結果：

(単位：Bq/cm³)

試料種別	採取日	Pu-238	Pu-239,Pu-240
揮発性	12/19	N.D. [$<6.0 \times 10^{-10}$]	N.D. [$<6.0 \times 10^{-10}$]
粒子状		N.D. [$<6.1 \times 10^{-10}$]	N.D. [$<6.1 \times 10^{-10}$]

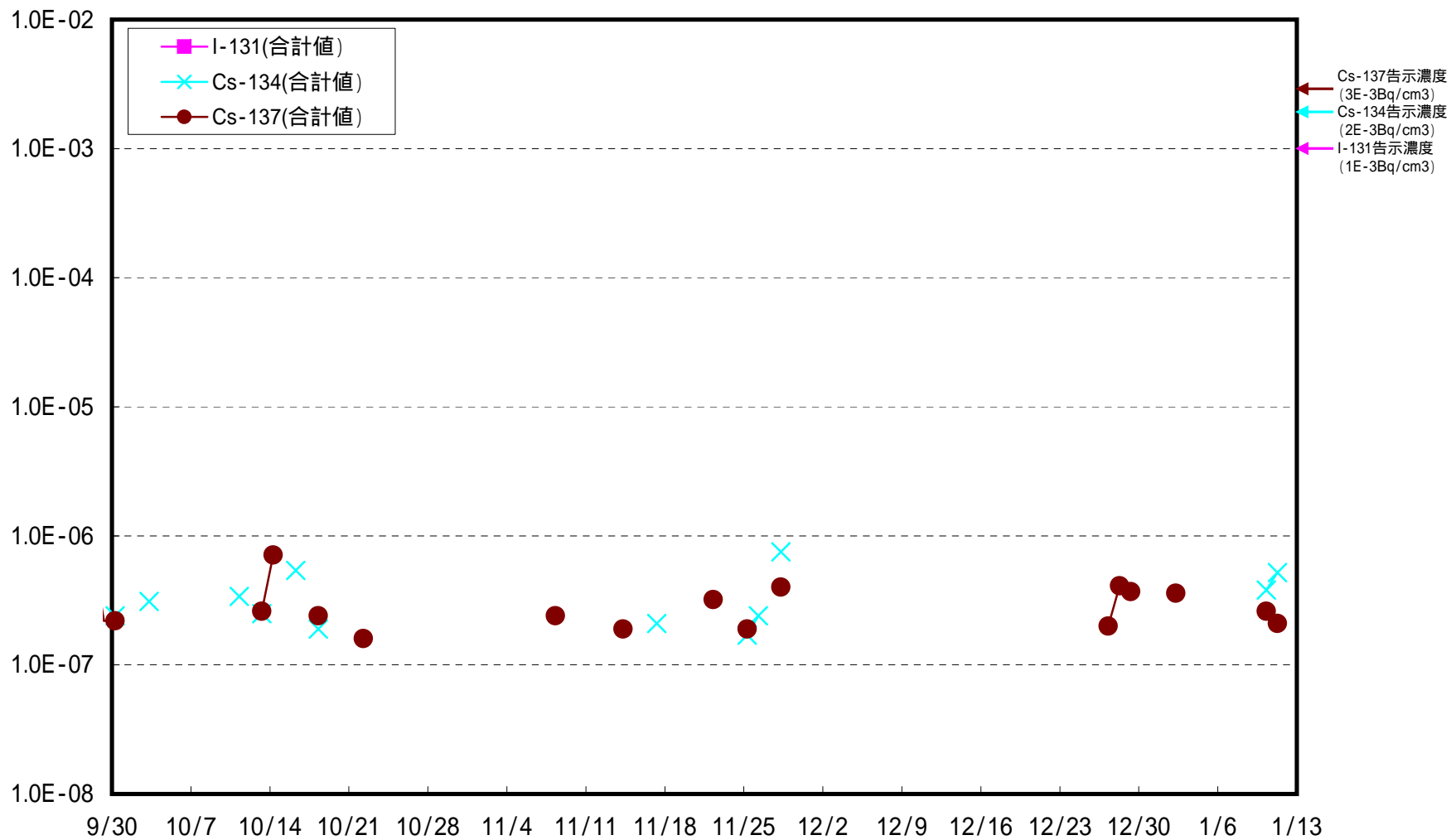
[]内は検出限界値を示す

4. 評価：

今回測定した試料からは Pu-238,Pu-239,Pu-240 は検出されなかった。

以 上

福島第一 西門 ダスト核種分析結果(Bq/cm³)



福島第二 MP - 1 (参考) ダスト核種分析結果(Bq/cm³)

